

令和2年度 自己評価(保護者対象のアンケートを含む)

棚倉町立棚倉中学校

【実施期間】12月

【調査対象】保護者 アンケート回収率 94.2%(前年度+1.5%)

【評価】(A)あてはまる (B)ややあてはまる (C)あまりあてはまらない (D)あてはまらない

以下の各項目における割合は、A・B評価の合計を肯定的意見として集計しています。

<問1 お子さんは、学校に楽しく通っている> 94.1%(前年度+0.5%)

(学校の取り組み)凡事徹底をスローガンに生徒主体で諸活動に取り組めるよう支援し、生徒と教員の信頼関係を大切にするとともに、ほめて伸ばす指導に力をいれています。

(考察)キャリア教育の視点で教育活動の充実を図ることで、夢や目標を持って、落ち着いた学校生活をおくっています。今度も生徒理解に力を入れ、安心・安全で魅力ある学校づくりに努力して参ります。

【参考】全国学力学習状況調査(令和元年4月) 同様の質問において全国平均 81.9%

<問2 保護者や地域の願いを取り入れている> 88.3%(前年度-2.2%)

(学校の取り組み)保護者や地域との日頃からの対話を大切にするとともに、学校行事や地域の行事では誠意をもって対応するように努めています。学校運営協議会を行い、意見交換を通して、協力体制の構築に取り組んでいます。

(考察)コロナ禍で教育活動に制限があり、保護者の願いが部活動や学校行事などに反映できなかったことが前年度より評価が下がった要因だと思われます。しかし、評価 A に関しては 28.2%(前年度+5.0%)と多くの保護者から高い評価を得ています。今後、さらに子ども達が充実した学校生活をおくれるように工夫をして参ります。

<問3 授業がわかりやすく楽しいと感じている> 77.1%(前年度+2.8%)

(学校の取り組み)教職員の授業力向上や『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて、校内研修の充実や教育委員会から指導を受ける機会を設けています。また、個別に補充学習をするなど学力向上に努めています。

(考察)評価 80%を下回るものの昨年度より肯定的意見の割合があがっています。それに伴い、各学年の実力テストの成績も向上しています。今後も「できる・分かる授業」を目指して、学力向上・授業力向上に取り組んで参ります。今後、以下の取り組みにも力を入れて参ります。

①実力テストや定期テストの結果を分析し、各教科部会で具体的な手立てを講じます。

②福島県教育委員会編集「ふくしま活用力育成シート」、「定着確認シート」を活用していきます。

③学習コンテスト(漢字、数学、英語)の実施、検定試験(英検、漢検、数研)の受検推奨で基礎力を向上させます。

<問4 子供や保護者の悩み、相談に応じてくれる> 88.2%(前年度+1.0%)

(学校の取り組み)日頃の保護者や生徒との対話を大切にし、問題に対して早期解決できるよう組織的な対応をしています。また、毎月の生活アンケートや定期教育相談を実施することで生徒の悩みに対応できるようにしています。さらには、スクールカウンセラーと連携を深めることで相談活動を充実させています。

(考察)今後も、保護者や生徒が少しでも疑問に思うこと、不安に感じていることを、遠慮なく伝えることができる関係づくりを構築して参ります。また、相談があった場合、早期対応し解決に向かえるよう組織として対応していきます。

<問 5 学級での活動や学校行事を楽しんでいる> 94.1%(前年度と同等)

(学校の取り組み)コロナ禍で制限がある中でも、充実した活動になるよう、また生徒が主体的に企画・運営できるよう教職員も知恵を出し合い支援した 1 年でした。その成果として、学校生活アンケート(QU テスト)の学級生活満足度群の割合も 6 月と比較して 11 月は高い結果がでています。

(考察)コロナ禍で学校の活動が制限されていたにもかかわらず、高い評価を得られたことは、子ども達に満足感があり、保護者のみなさんからご理解を得られた成果だと思えます。今後も学級活動や学校行事で楽しめるよう、さらに生徒が主体的に取り組めるように努めて参ります。

<問 6 生徒会活動や部活動を楽しんでいる> 89.7%(前年度-0.5%)

(学校の取り組み)生徒が主体的に生徒会活動に取り組めるよう、意欲的に部活動に参加できるよう、生徒とともに教職員も活動しています。また、活動を通して成長できるよう、ほめて伸ばす指導に努めています。

(考察)コロナ禍で生徒会活動や中体連・コンクールなどが中止や縮小になったにも関わらず、高い評価を得られたのは、一人ひとりが一生懸命取り組んだ成果だと思えます。評価 A に関しては 51.3%(前年度+7.7%)と非常に高い評価を得ています。なお、男子駅伝部が県大会 4 位(東北大会出場相当)、吹奏楽部が自主コンサートを開催するなど、顕著な成果もあげています。

<問 7 道徳性や社会規範について指導している> 91.2%(前年度+1.8%)

(学校の取り組み)学校教育全体で道徳性を育む指導を行っています。また、「考え議論する道徳」をテーマに道徳科の授業を行っています。さらに、コロナ禍における偏見や差別に関する指導も行い、生徒は実践できたと思えます。

(考察)本校の生徒は、道徳心が養われており、落ち着いた生活を送っています。今後も保護者との協力のもと、子ども達自身が道徳心を養えて、安心・安全な学校づくりができるよう努めて参ります。

<問 8 PTA は、関心が高く、活動が活発である> 79.1%(前年度-4.7%)

(学校の取り組み)今年度は、授業参観 2 回(昨年度 3 回)、奉仕作業 1 回(昨年度 2 回)のみの活動でした。その他の PTA 行事については感染予防のために中止や縮小となりました。

(考察)コロナ禍で PTA 活動に制限があったことが 80%を下回った要因だと思われれます。しかし、評価 A に関しては 24.5%(前年度+2.4%)と多くの保護者から高い評価を得ています。今後、コロナ禍でも子ども達のために、何ができるのか、どう充実させていくのかを PTA 役員会で検討していきます。

<問 9 施設設備は、活用しやすく整備されている> 83.3%(前年度-3.6%)

(学校の取り組み)学校の環境整備のために日常の清掃活動や学期末大掃除・ワックスがけに力を入れています。さらに、毎月安全点検を行い、修繕箇所については町と連携し早期対応しています。

(考察)校地・校舎に愛着を感じ、生徒・教職員で環境整備に取り組んで参ります。また、棚倉町教育委員会と連携し、さらに施設設備の充実を図ります。

<問 10 地震や火災、不審者対応が周知されている> 90.0%(前年度-0.5%)

(学校の取り組み)棚倉消防署や警察署の協力を得て避難訓練や交通安全教室を実施しています。また、不審者情報が寄せられた場合、学級指導を確実に行っていきます(被害があった場合、全校放送でも指導しています)。

(考察)今後、東日本大震災における「釜石の奇跡」にあるように、緊急事態の際には一人ひとりが適切な判断で危機回避できるよう、自己マネジメント力を養って参ります。また、不審者情報・熊(鹿、猪等)出没情報に対しては、危機意識をもち、その都度指導して参ります。

令和2年度 学校関係者評価

棚倉町立棚倉中学校

【実施期間】2月

【調査対象】学校運営協議員10名(教職員以外)

【評価項目】(1)自己評価の内容及び今後の手立て、考察は適切かどうか。

(2)学校経営の総括は適切かどうか。

○ 自己評価の内容及び今後の手立て、考察は適切かどうか。

- ・ 適切だと思います。(2件)
- ・ コロナ禍で制約の多い中、どの項目も高い評価で教職員の熱意や生徒の意欲を感じます。特に、学級での活動や学校行事において楽しいと感じている生徒が多く先生方の行事に対する工夫には頭が下がります。
- ・ コロナ禍で様々な制約がある中で、子ども達が目標を見失うことなく活動しているように感じます。
- ・ 保護者からの回収率が高く、協力が良く得られている。子どもを中心に地域ぐるみで育てることが必要だと思います。今後も協力体制を強化し、素晴らしい子どもを育ててください。

○ 学校経営の総括は適切かどうか。

- ・ 適切だと思います。(2件)
- ・ 不登校生徒が少ないことが素晴らしい。SSRの活用や生徒指導における迅速な解決など、きめ細かな対応が支えだと思います。また、生徒会活動でエコキャップや使い捨てカイロの回収など、自主的に取り組む姿は「常にチャレンジする生徒」が実現されていると感じます。
- ・ 不登校の生徒に対するケアや運動能力、学力向上など目標値をクリアしていて、素晴らしい1年であったと感じました。
- ・ 学力向上の実態は学年があがることに県平均より下がっていますが、学力をつけなければならない意味を子どもに理解させ取り組ませることが大事だと思います。学力テストがあるから勉強しなさいでは、子どもはやる気が生まれません。テスト終了後に、自分にとってプラスな面があれば納得し勉強に取り組むことが、できると思います。

○ その他、自由記述

- ・ 生徒に寄り添う姿勢が素晴らしく、逆に先生方の健康、特に精神衛生面が気になります。協議会の中で発言しましたが、是非、子ども、保護者に行うアンケートを先生方にも行ってください。コロナ禍で先生方のストレスは大きいと思います。
- ・ 学校運営協議員の授業参観の参加人数が少なかったことは残念でした。授業参観や文化祭、給食試食など行事を組み合わせ、活発な参加、協力が必要です。現場を見ることが改善につながると思いました。
- ・ 小学校では年に1回は授業参観と給食試食の内容で協議会を行っています。出席者も多く好評でした。子ども達の学習の様子を見ることができ、中学校を理解する良い方法だと思います。
- ・ 生徒会活動の使い捨てカイロの回収(水質浄化活動)について、生徒自らの発案・実行は、賞賛されるべきことです。
- ・ 小学校からの夢をさらに見直し、現実感を伴った進路へと進化させる棚中生は素晴らしい。自分で考え自分のために行動し努力を重ねる、そして夢の実現に向けることが自分の学習だと思います。そんな生徒を育成してください。